

わたしたちのにいがたみらいビジョン — 残したい！鳥屋野潟を新潟の未来へ —

教科等横断的単元

6年虹の輪 6月～10月 90Q (30時間)
附属新潟小学校 教諭 浅間 一城

- 1 本単元で目指す姿
考える技法を用いて体験と体験をつなぐことを通して、探究課題についての認識を更新する子ども

具体的には、「鳥屋野潟は、水や生物といった自然環境、人々の生活がお互いにかかわり合っていることが分かりました。私は始めは、鳥屋野潟を将来にわたり残すには鳥屋野潟の自然を守ることが大切だと思ってました。しかし、鳥屋野潟の自然は人々の生活と深くかかわっていることが分かり、そこに暮らす人々の生活（例えば漁業）を守ることが自然を守ることにもつながると考えるようになりました。私たちの身の回りには、自然環境と人々の生活を壊すゴミが、意外と多く捨てられています。もちろん私が捨てるようなことは絶対しないし、落ちているのを見つけたら自分たちの生活を守るためにも積極的に拾うようにします」などと考える姿。

- 2 本単元で育成する資質・能力（評価基準）

	①知識・技能	②思考力・判断力・表現力	③態度
総合学習	○鳥屋野潟は、自然環境や人々の生活、文化などが相互に関わり合っていて構成されているという相互性の概念	○鳥屋野潟の本質や価値に迫るために、整理した情報を比較したり関連付けたりする力	○自ら実社会や実生活の諸問題に関わり、参画しようとする態度
国語科		○書くことを選び、材料を集め、伝えたいことを明確にする力	

- 3 関連する学習

[第6学年] 国語科
— 意見を書こう —



[第6学年] 虹の輪
— 私たちのにいがた未来ビジョン —

- 4 単元の計画

	【学習活動】★資質・能力	【働き掛け】	Q
	◎鳥屋野潟を将来にわたり残していきたい。鳥屋野潟にかかわる方々の思いを受け止め、私たちも鳥屋野潟と共に歩んでいこう。 【単元を貫く探究課題】		
総合学習・国語科 (二次)	鳥屋野潟は、過去から現在にかけて人々にとってどのような場所だったのだろうか。【2サイクル目学習課題】 ★総合② ○ 予想を立て、学習の見通しをもつ。 ・大切な場所だったと思う。 ・色んな人に話を聞いてみたい。 ★総合① ○ 鳥屋野潟にかかわってきた方々にインタビューをする。 ○ 収集した情報を整理し分析する。 ・鳥屋野潟は、人々の生活とつながっている場所だ。 ★総合① ○ 鳥屋野潟についてコアマトリクスで整理・分析する。	◆ 増井さんの鳥屋野潟に対する思いを語ってもらい、自分たちとの比較から気付いたこと問う。 ◆ 予想を立てさせるとともに、学習の進め方を問い、調べることや方法などについて見通しをもたせる。 ◆ 鳥屋野潟にかかわる方々にインタビューする場を設ける。 ◆ 2サイクル目で収集した情報をロイロノートで整理・分析させる。 ◆ 1サイクル目との比較から、鳥屋野潟はどのような場所であるかを問い、コア	30 Q 10 時間

○ 豊かな自然があるから人々は生活できる。自然も人によって守られてきた部分もある。鳥屋野潟は、自然と人々の生活が深く関わり合っている場所だ。☆総合①② ☆協働性、ツール活用

- 伝えたい内容をランキング形式で整理する。 ☆国語科②
- 発表に向け、学習で学んだことと、自分たちの考えをまとめる。
☆総合①☆協働性☆ツール活用能力
- 漁業組合の方に鳥屋野物語の発表内容を発表する。
- 割合を基に、何%位届いたと思うのか、なぜその位の割合なのか話し合う。
・80%位かな。
・100%にはっていないと思う。

鳥屋野潟を将来にわたり残していくために、私たちが共に歩いていくという思いを100%届けるには、何が必要か。
【3サイクル目学習課題】

- 増井さんと自分たちの相違点を話し合う。
・増井さんと違って、自分たちは鳥屋野潟に直接かかわろうとしていない。
・私たちが鳥屋野潟と直接どのようにかかわっていくのか考え行動することが大切だ。 ☆総合①②③ ☆協働性、ツール活用
- 自分と鳥屋野潟のかかわり方を具体的に考える。
・地域の方の思いを受け止め、共に歩もうとする気持ちが大切。だから、鳥屋野潟のことを思って、ゴミを見かけたら拾うなど、できることに取り組みればよい。 ☆総合②③
- 自分たちの鳥屋野潟との向き合い方を加えて、発表内容を修正する。
- 地域の方に向け、学んできたことや、鳥屋野潟との向き合い方などについて発表する。
- 単元全体を通して、学んできたことを振り返る。

○ 鳥屋野潟は、水や生物といった自然環境、人々の生活が互いにかかわり合っている。この自然を守ることが大切だと思ってきました。しかし、鳥屋野潟の自然は人々の生活を深くかかわっていることが分かり、そこに暮らす人々の生活（例えば漁業）を守ることが自然を守ることにもつながると考えるようになりました。私たちが身の回りには、自然環境と人々の生活を壊すゴミが、意図せず捨てられていました。自分たちの生活を守るために、積極的に拾うようにします（Cn）。 ☆総合①③

マトリクスで整理・分析させる。

- ◆ 伝えたい内容は何か問う。
- ◆ プレゼンテーションソフトで発表内容をまとめさせる。
- ◆ 漁業組合の方への発表の場を設ける。
- ◆ 漁業組合の方に取ったアンケート結果を基に、自分たちの思いが100%届いたと言えるかどうか問う。 【働き掛け1】
- ◆ アンケート結果を視覚的に提示する。
- ◆ 本時の学習課題について問う。
- ◆ 増井さんと自分たちを比較させ話し合わせる。 【働き掛け2】
- ◆ Tチャートを配付し、これを基に両者を比較させる。
- ◆ 鳥屋野潟を将来にわたり残していくために自分がどのようにしてかかわっていけばよいか問う。 【働き掛け3】
- ◆ 振り返りのワークシートを配付し記述させる。
- ◆ 発表内容について再検討する場を設ける。
- ◆ 地域の方に向けた発表の場を設け、参観者から評価を受ける場を設定する。 【働き掛け4】